シカモア日本語教室　もみじ組 名前

宿題 たしかめ表

令和 5 年 2 月 25 日～3 月 3 日

おうちの人のサイン	G		今週の宿題 34
		1	音読 「本の世界を広げよう」教科書 P.144-145 ★国語三上と国語三下の教科書を両方用意する
		2	漢字カード⑤ 書きテスト勉強
	P	3	もみじ組で習った漢字のそうふく習 3
	S	4	ならべかえプリント 34
	P	5	へんとつくりプリント 34
	P	6	教科書プリント「モチモチの木」②③
	P	7	言葉の学習 1
	S	8	ことば新聞（習った漢字をつかって、今週の出来事を書きましょう。）
	V	9	ビデオ音読 自分の書いた「わたしの学校じまん」
		10	今週の歌の練習「一年生になったら」
		11	毎日日本語で話す。

↑Google Classroom にアップロードしてください。P は写真、S はスライド、V はビデオをアップロードします。 Mはメールにつけて送ってください。

音読カード きのうより上手に読めたかな

よくできた ◎ できた ○ もう少し △

読むめあて	土	日	月	火	水	木	金
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸でくぎってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ ないようが分かる							
おうちの人のサイン							

101 湖の□ん中（ま）
102 □夜番組（しんや）

103 話を□める（すす）
104 うさぎの□話（せ）
105 かみがたを□える（ととの）
106 □の思い出（むかし）
107 □くこまったものだ（まった）
108 話の□手（あい）

109 荷物を□る（おく）

110 理□を持つ（りそう）

111 □をする（いき）
112 スピードが□い（はや）
113 わたしの家□（ぞく）
114 □国の人（たこく）

115 ヒットを□つ（う）
116 反□の考え（たい）
117 友人を□つ（ま）

118 係を□わる（か）
119 □一回目（だい）
120 むずかしい問□（だい）

121 石□をもやす（せきたん）
122 □いズボン（みじか）
123 大切な相□（だん）
124 学校に□く（つ）
125 ピザの□文（ちゅうもん）
126 電□がたつ（ちゅう）
127 切れる包□（ほうちょう）
128 日記□（ちょう）

129 □子がいい（ちょうし）
130 子犬を□う（お）

131 □員オーバー（てい）
132 □にさく花（にわ）
133 □をふく（ふえ）

134 □ぼう（てつ）

135 ビー玉が□がる（ころ）
136 □会のデパート（と）
137 水の温□（ど）

138 ボールを□げる（な）
139 大□のえいよう（だいず）
140 日本は□国（しまぐに）

141 お□をそそぐ（ゆ）
142 □校する（とう）

143 長さが□しい（ひと）
144 かわいい□物（どう）
145 □ようを歌う（どう）
146 □家の人たち（のう）
147 □が高い（なみ）

148 心□する（ばい）

149 二□にふえる（ばい）
150 びっくり□（ばこ）

修飾語（ならべかえ）34

しゅうしょくご

★　つぎの文を下の言葉をつかって、くわしくしましょう。まず、下の言葉を点せんで切った後、ならべかえながら文を作ります。出来上がったら、のりではりましょう。下の五つの空いているところには、自分で修飾語を入れます。

医者様が

歩く。

きりとり線

医者様が

歩く。

部首　三十四

★次の漢字の部首をハイライトした後、部首の名前を左の□からえらんで書きましょう。

① 所（　　）

② 館（　　）

③ 地（　　）

④ 強（　　）

⑤ 深（　　）

しょくへん　むし
とかんむり　つちへん
さんずいへん　ゆみへん

★★ 次の部首のつく漢字を書きましょう。

① あくび　□

② ごんべん　□

③ ぎょうにんべん　□

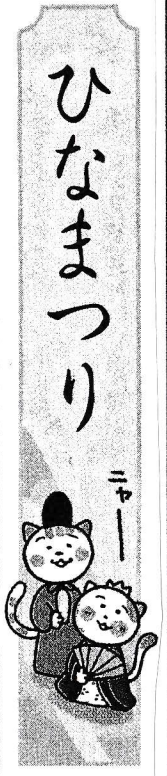
④ ひよみのとり　□

⑤ おおがい　□

ことば新聞

発行日　　月　　日
発行者

今週のことば

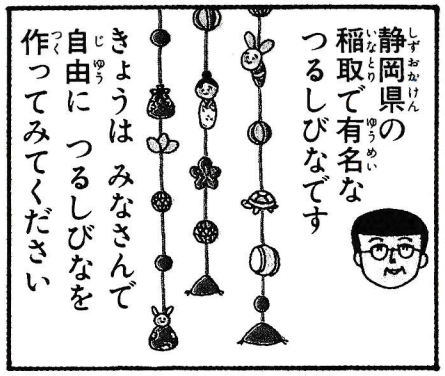


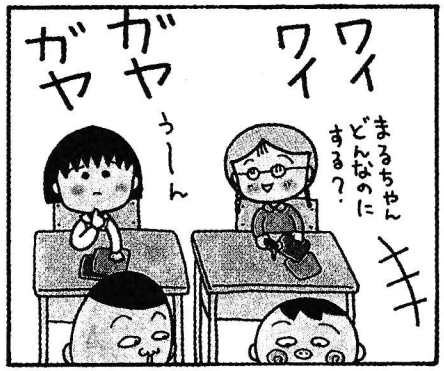
三月三日

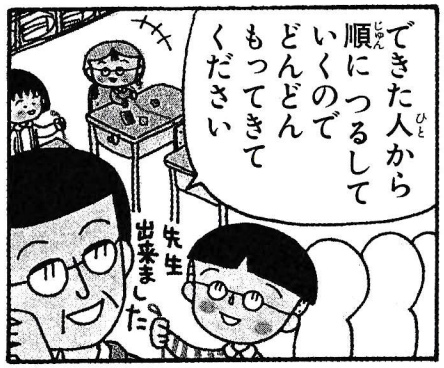
女の子の成長をいのる祭り。

「ももの節句」ともよびます。ひな人形をかざり、桃のお花やおかしをそえて、女の子が健康に育つように願い、祝います。

今週のできごと







モチモチの木　②

1 **線の言葉の意味をえらんで、○をつけましょう。**　15点（一つ5）

① 豆太ほどおくびょうなやつはない。

ア（　　）よく考え考えして、なかなか行動にふみきれないせいしつ。
イ（　　）ちょっとしたことにもこわがり、びくびくするせいしつ。
ウ（　　）物事に進んで向かっていくせいしつ。

② いばって、実を落とせとさいそくする。

ア（　　）あれこれと多くのことを、相手にもとめること。
イ（　　）ゆめのようなことを、相手にもとめること。
ウ（　　）早くするようにと、相手にもとめること。

③ えだえだの細かいところにまで、灯がともる。

ア（　　）火や明かりがつくこと。
イ（　　）火や明かりが消えること。
ウ（　　）火や明かりがついたり消えたりすること。

2 **次の文章を読んで、問題に答えましょう。**

教下 124ページ2行～8行

モチモチの木ってのはな、豆太がつけた名前だ。小屋のすぐ前に立っている、でっかいでっかい木だ。

秋になると、茶色いぴかぴか光った実を、いっぱいふり落としてくれる。その実を、じさまが、木うすでついて、石うすでひいてこなにする。こなにしたやつをもちにこね上げて、ふかして食べると、ほっぺたが落っこちるほどうまいんだ。

〈斎藤隆介「モチモチの木」より〉

(1) 「モチモチの木」という名前は、だれがつけたのですか。　7点

（　　）

(2) モチモチの木の実は、どんな実ですか。　10点

（　　）

(3) なぜ、「モチモチの木」という名前をつけたのだと思いますか。　10点

（　　）

モチモチの木 ③

3 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

教下 128ページ7行〜130ページ6行

「医者様をよばなくっちゃ。」
豆太は、小犬みたいに体を丸めて、表戸を体でふっとばして走りだした。
ねまきのまんま。はだしで。半道もあるふもとの村まで――。
外はすごい星で、月も出ていた。
とうげの下りの坂道は、一面の真っ白い霜で、雪みたいだった。霜が足にかみついた。足からは血が出た。
豆太は、なきなき走った。いたくて、寒くて、こわかったからなぁ。
でも、大すきなじさまの死んじまうほうが、もっとこわかったから、なきなきふもとの医者様へ走った。
これも、年よりじさまの医者様は、豆太からわけを聞くと、
「おう、おう――。」
と言って、ねんねこばんてんに薬箱と豆太をおぶうと、真夜中のとうげ道を、えっちら、おっちら、じさまの小屋へ上ってきた。
とちゅうで、月が出てるのに、雪がふり始めた。この冬はじめての雪だ。豆太は、そいつをねんねこの中から見た。
そして、医者様のこしを、足でドンドンけとばした。じさまが、なんだか死んじまいそうな気がしたからな。
豆太は、小屋へ入るとき、もう一つふしぎなものを見た。
「モチモチの木に、灯がついている。」

〈斎藤 隆介「モチモチの木」より〉

(1) 医者様をよびに出た豆太のいきおいを表す文に――線をつけましょう。 8点

(2) 「村まで――。」の「――」には、どんな言葉が入りますか。 10点

(3) 「霜が足にかみついた。」とは、どういう様子だと考えられますか。次からえらんで、○をつけましょう。 10点

ア（　）足に霜がついて、つめたくていたい様子。
イ（　）霜が足に乗って重い様子。
ウ（　）霜がおばけのように追いかけてくる様子。

(4) 「いたくて、寒くて、こわかった」とありますが、おくびょうな豆太が、それでも走りつづけたのはなぜですか。 10点

（　　）

(5) 「ふしぎなもの」を、二つ書きましょう。 20点（一つ10）

（　　）
（　　）

1 次の□の「へん」の名前を、□からえらんで書きましょう。 一つ10点〔30〕

① 油……（　　）
② 係……（　　）
③ 語……（　　）

にんべん
ごんべん
きへん
さんずい

2 ……の言葉がくわしくしている言葉に、――を引きましょう。 一つ10点〔40〕

〈れい〉お母さんが、おいしい　カレーを　作る。

① お父さんが、あすの　天気を　心配（しんぱい）する。
② 大きな　鳥が、大空を　とぶ。
③ わたしは、しっかりと　鉄ぼうを　にぎった。
④ 弟は、まちがいを　消しゴムで　消した。

3 漢字の使い方が正しいほうに、○をつけましょう。 一つ10点〔30〕

① 車が三（　　）題／（　　）台ならぶ。
② （　　）消化／（　　）消火がよい食べ物。
③ 朝起きたら、まず、（　　）葉／（　　）歯をみがいて、顔をあらう。